

さいたま市民医療センターにて感染症でご加療中の方へ

当院では国立感染症研究所及び埼玉県立大学との多施設共同研究（アジア諸国と協調して展開する Advanced One Health Tricycle Project）に参加しております。この研究で地域の薬剤耐性菌の疫学を明らかにすることで治療薬の選択や感染経路の遮断などの対策法構築に役立てるための共同研究です。

【研究課題】

医療施設における薬剤耐性菌の伝播メカニズムに関する研究（2023-9）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 さいたま市民医療センター
研究責任者 布施川 岳人 臨床検査科
担当業務 臨床情報・試料収集、データ解析

【共同研究機関】

研究機関 国立感染症研究所（主任研究施設）
 埼玉県立大学

担当業務 環境由来試料収集・分析、データ解析、ゲノム解析

【研究期間】

2023～2024 年度

【対象となる期間】

2023年4月1日～2025年3月31日の間に当院で実施した一般細菌培養検査で分離された薬剤耐性菌（MRSA、ESBL、CPE）

【研究の意義】

ESBL、MRSA は当センターで分離される耐性菌の大部分を占め院内感染対策上極めて重要な耐性菌である。これら薬剤耐性菌のゲノム解析を通じて疫学調査することは効果的な院内感染対策の立案や抗菌薬の適正使用、並びに埼玉県内下水中の薬剤耐性菌と臨床分離株を比較することで市中における耐性菌の分布を明確にし、地域全体の薬剤耐性菌対策や感染症診断・治療に生かすことが期待できます。

【研究の目的】

国立感染症研究所及び埼玉県立大学との共同研究により当センターで分離される耐性菌（MRSA、ESBL、CPE）の効果的な院内感染対策の立案と抗菌薬適正使用に貢献することを目的とする。

【研究の方法】

この研究は、さいたま市民医療センター倫理委員会（国立研究開発法人 日本医療研究開

発機構（AMED）の公募課題として採択）の承認を受け実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている微生物学的検査や臨床情報等と共に微生物学的検査で分離された薬剤耐性菌（MRSA、ESBL、CPE）を収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

分離された薬剤耐性菌は共同研究施設の国立感染症研究所及び埼玉県立大学で実施された薬剤感受性検査データやゲノム解析データを使用します。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの人体試料や情報・データ等は、国立感染症研究所及び埼玉県立大学に送られ解析・保存されますが、送付前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当院臨床検査科において布施川岳人（管理責任者）が、個人情報管理担当者のみが使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行うこともできます。

この研究のためにご自分（あるいはご家族）のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで 2025年3月31日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかつた場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後一定期間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）から埼玉県立大学へ委託され支出されています。

○本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

○本研究は、共同研究施設への菌株譲渡に使用する輸送容器等は埼玉県立大学よりの提供を受けて実施いたしますが、東京大学医学部利益相反アドバイザー機関に報告し、利益相反マネジメントを適正に行っています。

尚、あなたへの謝金はございません。

2023年8月

【問い合わせ先】

さいたま市民医療センター 臨床検査科

住所：埼玉県さいたま市西区島根299-1

電話：048-626-0011